

広島家族。RCC

第九
ひろしま
2017

RCC開局65年記念事業



【第一部ゲスト】
〈アコースティック・ギター〉
押尾コータロー
Kotaro Oshio



〈ソプラノ〉小林沙羅
Sara Kobayashi
©NIPPON COLUMBIA



〈アルト〉坂本 朱
Akemi Sakamoto
©武藤 章



〈テノール〉西村 悟
Satoshi Nishimura
©Yoshinobu Fukaya(aura)



〈バリトン〉大山大輔
Daisuke Oyama
©Yoshinobu Fukaya(aura)

〈管弦楽〉広島交響楽団
〈合唱〉第九ひろしま2017合唱団

広島に

歓喜の季節が
やって来る!

12月17日(日) 午後3時開演(午後2時開場)

広島サンプラザホール(広島市西区商工センター3丁目1番1号)

指定席:前売4,300円(税込)/当日4,800円(税込) 自由席:前売3,800円(税込)/当日4,500円(税込)
※4歳以上は有料です。3歳以下の入場はお断りいたします。※会場への入り口は西口(公園側)のみとさせていただきます。

[チケット]・エディオン広島本店・広島サンプラザ・アルパーク天満屋・福屋広島駅前店
・中国新聞社読者広報部・セブンチケット・ローソンチケット(Lコード:63099)
・チケットぴあ(Pコード:344-479)・RCCオンラインチケット

〈指揮〉曾我大介
Daisuke Soga

お問い合わせは▶RCC事業部第九事務局 ☎082-222-1133(平日午前9時30分~午後5時30分)

第九ひろしま

検索

主催/中国放送 中国新聞社 特別協賛/株式会社サタケ 後援/広島県・広島市・福山市・東広島市・呉市・廿日市市・三次市・安芸高田市

広島県教育委員会・広島市教育委員会・広島県合唱連盟・ドイツ連邦共和国総領事館



フェイスブックで
最新情報を
チェックしよう!



演奏曲目

第一部

「Together!!!」
「Merry Christmas Mr.Lawrence」
「ナユタ」
「Legend～時の英雄たち～」
「美しき人生」
(演奏順は未定)

ゲスト:押尾コータロー
(アコースティックギター)
指揮:曾我大介
管弦楽:広島交響楽団

第二部

ベートーヴェン 交響曲第9番 二短調 Op.125「合唱」

指揮:曾我大介
ソリスト:ソプラノ/小林沙羅 アルト/坂本朱
テノール/西村悟 バリトン/大山大輔
合唱:第九ひろしま2017合唱団

指揮 曾我大介 Daisuke Soga



© 金子龍玄

1993年ブザンソン、1998年コンドラシンの二大指揮者コンクールで第1位。以降日本はもとより、ヨーロッパ、南米を中心に世界各地のオーケストラに客演を重ね、2015年6月には

ベルリン・フィルハーモニーホールにおけるベルリン響ベートーヴェン「第九」公演、2016年4月にはルーマニアのブラショフ・オペラで「リゴレット」を指揮するなど活躍を続けている。

ルーマニアとは特に関係が深く、各地のオーケストラや劇場に定期的に客演。2017年11月には長年にわたり活動を共にしているブラショフ・フィルとの日本公演が予定されている。ルーマニア国立放送響首席客演指揮者、大阪シンフォニカー響(現・大阪交響楽団)音楽監督、ブラジル・ロンドリーナ音楽祭首席指揮者などを歴任し、現在東京ニューシティ管弦楽団正指揮者。音楽祭や講習会の講師、コンクール審査員、作曲家としても活躍中。著書に、『《第九》虎の巻』『《第九》合唱譜』(ともに音楽之友社)、『聴きたい曲が見つかる!クラシック入門』(技術評論社)など。デルタ・クラシックスより、東京ニューシティ管弦楽団とのCDがリリース中。

ルーマニア・ブラショフ市とブラジル・ロンドリーナ市名誉市民。

オフィシャルホームページ www.soga.jp/

ソプラノ 小林沙羅 Sara Kobayashi



© NIPPON COLUMBIA

東京藝術大学及び同大学院修了。10年度野村財団奨学生、11年度文化庁新進芸術家在外研修員。14年度ロームミュージックファンデーション奨学生。10~15年ウィーンとローマにて研鑽を積む。

06年『バステアンとバステイェヌ』でデビュー後、東京芸術劇場『トゥーランドット』リユー、兵庫県立芸術文化センター『こもり』アデーレ、新国立劇場『パルジファル』花の乙女等に出演。12年ブルガリア国立歌劇場『ジャンニスキッキ』ラウレッタで欧州デビュー、海外へも活動の幅を広げる。15年野田秀樹演出、井上道義指揮『フィガロの結婚』にスザンナ役で出演し好評を博す。17年『カルメン』ミカエラで藤原歌劇団に初出演を果たした。16年秋セカンドCD『この世でいちばん優しい歌』をリリース。17年3月、第27回出光音楽賞受賞。藤原歌劇団団員。

アルト 坂本朱 Akemi Sakamoto



© 武藤章

東京藝術大学、同大学院オペラ科修士課程を経て、ミラノのヴェルディ国立音楽院に学ぶ。トーティ・ダグ・モンテ及びベッリーニ国際音楽コンクールで優勝。オペラ出演は数多く『カルメン』『ナブッコ』『運命の力』『トロヴァトーレ』『蝶々夫人』『建・TAKERU』『黒船』『忠臣蔵』等、豊かな表現力と圧倒的な存在感で高く評価されている。

またテミルカーノフ、マゼール、ホーネック等国際的な指揮者やオーケストラとプロコフィエフ『アレクサンドル・ネフスキー』、マーラー『交響曲第2番、第3番、ベートーヴェン』等で共演。CDは武満ソングス全21曲を収録した『Liberté』(ギター:福田進一)をリリースしている。

テノール 西村悟 Satoshi Nishimura



© Yoshinobu Fukaya (aura)

日本大学芸術学部、東京芸術大学大学院修了。リッカルド・ザンドナーイ国際声楽コンクール第2位、日本音楽コンクール第1位。オーケストラとの共演では山田和樹指揮スイス・ロマン管弦楽団とメンデルスゾーン『讃歌』、佐渡裕指揮ケルン放送交響楽団『第九』。

大野和士指揮バルセロナ交響楽団との共演でメンデルスゾーン『讃歌』でソリストを務め、ヨーロッパ・デビュー。

オペラでは『ラ・トラヴィアータ』『蝶々夫人』『仮面舞踏会』『ラインの黄金』等に出演。五島記念文化賞オペラ部門オペラ新人賞、出光音楽賞等を受賞。藤原歌劇団団員。在ヴェローナ。

バリトン 大山大輔 Daisuke Ohyama



© Yoshinobu Fukaya (aura)

東京藝術大学首席卒業。同大学院修了。“井上道義&野田秀樹”による新演出『フィガロの結婚』や、宮川彬良による歌劇『ブラック・ジャック』、異彩を放つシアターピース、バーンスタイン『ミサ』“司祭”等、数々の主役として圧倒的な存在感を示している。また演劇作品への出演も多く、劇団四季ミュージカル『オペラ座の怪人』では“ファントム”として客演するなどジャンルを越えて活躍しており、その多彩な経験と独自の表現力から、台本執筆、MCナレーション、歌唱・演技指導にも定評がある。日本声楽アカデミー会員。

アチーブメントプロデュース専属歌手。洗足学園音楽大学ミュージカル・声楽コース講師。東京メトロポリタンオペラ財団育成部ディレクター。

アコースティックギター 押尾コータロー Kotaro Oshio



2002年アコースティックギタリストとしてメジャーデビューし、同年10月全米メジャーデビューを果たす。またスイスの「モントルー・ジャズフェスティバル」へは2002年から3年連続出演。近年ではアジア各地での活動も広げ、韓国や中国でのソロライブを開催するなど海外での評価も高い。オープンチューニングやタッピング奏法などのテクニックを駆使し、1本のギターで弾いているとは思えない鮮やかで迫力あるギターアレンジや、あたたかく繊細なギタープレイは世代を超えて多くの人々に支持を受けている。

ソロアーティストとして全国ツアーなどのライブ活動を中心に、映画音楽、番組テーマ曲、CM音楽などの作曲も手掛ける。現在、三菱電機カーナビゲーションシステム「DIATONE SOUND.NAVI」のCMに出演中。12月には東京、大阪で15周年を記念した集大成ライブを開催する。

押尾コータロー公式サイト <http://www.kotaro-oshio.com/>

広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra



国際平和文化都市「広島」を本拠地とし、中・四国を代表するプロオーケストラ。2017年4月から下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年終身名誉指揮者に就任した。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>